

新生JQAA総会

1号議案：新生JQAA2013年活動方針



1. 新生JQAA活動基本方針
2. 新生JQAA新組織体制
3. 各部会活動計画
4. 2013年度活動予算

新生JQAA活動基本方針（1）

<理念>

「私達は経営革新を目指す全ての人達に対し、協創の（共創）の場と、知識・知恵・情報を提供し、共に学び、共に経営革新を進めます」

<行動指針>

「志」、「ボランティア精神」、「公正性」、「自立と自尊」

- * 私たちは、JQAの考え方を基本に、志を持って行動します。
- * 私たちは、熱意と善意をもって行動します。
- * 私たちは、オープンで公正に行動します。
- * 私たちは、自立と自尊をもって行動します。

<基本方針>

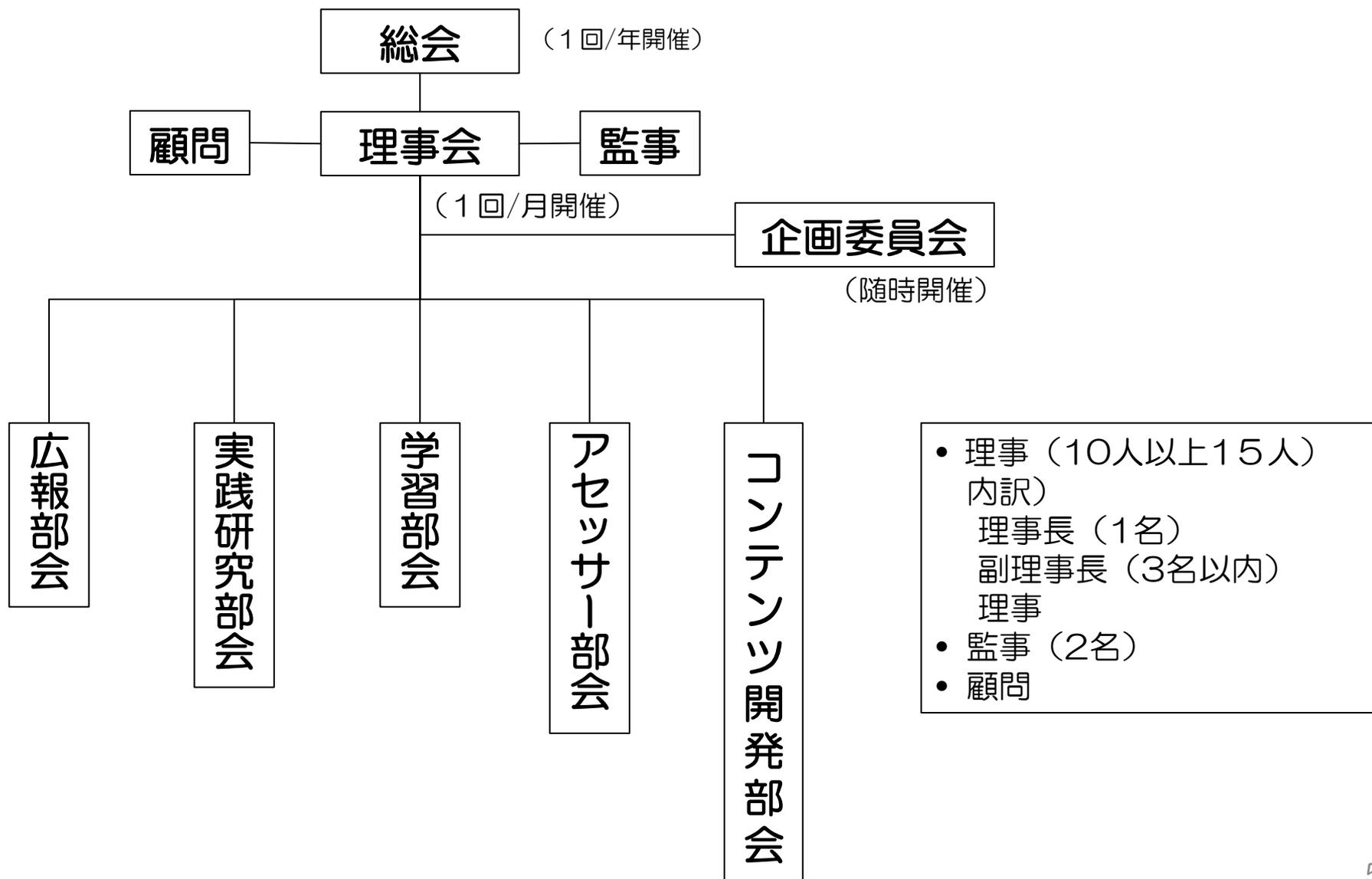
「JQA認定アセッサーは勿論のこと、現場責任者から経営管理者に至る人達に対し、セミナー及び実践研究会、情報誌などを通し、経営革新に必要な知識、知恵、情報を提供し、経営革新の支援を行います。」

新生JQAA活動基本方針（2）

＜具体的展開方法＞

- * 新生JQAAを担保するために、新定款、運営委員規定、選挙管理規定の設置を図ります。
- * 新生JQAAは、JQACとの協同に取り組みます。（JQACより理事派遣）
- * 組織の健全な発展を促進します（運営委員制度、バーチャル活動導入）
- * 組織の有機的強化を図るために、抜本見直しを図ります。
 - ① 迅速決定と全体最適（理事数削減、企画委員会設置）
 - ② 新たな顧客開発（出版と広報部会の統合化、及びマーケティングの追加）
 - ③ 独自コンテンツの開発（コンテンツ開発部会の設置）
 - ④ 現場に合った実践事例研究強化（実践研究部会の独立）
 - ⑤ 認定セルフアセッサーのフォローと向上（アセッサー部会の設置）
- * 自立と自尊に向けた、健全な収支計画に則った事業計画を策定します。（予算の精度向上と各部会完結型運営の徹底）

新生JQAA組織体制（1）



新生JQAA組織体制（2）：各組織概要

名称	構成員	内容
総会	理事・運営委員	年1回の開催。①運営委員の除名②理事及び監事の専任または解任③事業報告及び収支計算書並びに正味財産増減書の承認④定款の変更⑤会の解散及び残余財産の処分⑥その他、理事会において必要と認められた事項⑦その他、法令に準ずる事項
理事会	理事	原則月1回。①JQAAの業務執行の決定②理事の職務執行の監督③理事長及び副理事長の選定及び解職
企画委員会	理事長、副理事長、部会リーダー	理事会の諮問機関。随時開催。理事長及び部会から提示された部会横断的課題の事前検討やJQAA運営に関する企画立案等を理事会に提案する前に協議する。
監事		①理事の職務執行の監査 ②監査報告書の作成
顧問		理事会の求めにより助言を行う。
会計	広報部会リーダー、運営委員	適切な予算及び会計管理と出納等運営を行う。

新生JQAA組織体制（3）：各組織概要

名称	構成員	内容
コンテンツ 開発部会	リーダー、サブ リーダー、理事、 運営委員	JQAAとしての独自コンテンツを企画・開発すると共に、他の部会と共同し実践支援をする。
アセッサー 部会	リーダー、サブ リーダー、理事、 運営委員	JQACから移管されたアセッサーフォロー（育成）セミナーの運営を行う。経営に役立つフィードバックレポートの研究を行う。
学習部会	リーダー、サブ リーダー、理事、 運営委員	JQAの理念・考え方に基づく経営革新を推進するセミナー・講演のほか、JQAAオリジナルのセミナー・講演等の企画・運営を行う。
実践研究部 会	リーダー、サブ リーダー、理事、 運営委員	7月開始～5月終了。5～6名の参加を単位とし、経営革新事例に基づく研究会の運営を行う。
広報部会	リーダー、サブ リーダー、理事、 運営委員	①顧客・運営委員拡大のための広報宣伝（マーケティング）を行う。②JQAAジャーナル、JQAA通信等媒体を通じた情報発信を行う。③顧客ならびに運営委員の情報管理を行う。④会計業務を行う。

2013年度各部会活動計画

目的

JQAAの社会的使命を高め、組織内革新者としてのアセッサーの能力を一層向上させることにより経営革新に貢献し続けていくため、JQAA独自のコンテンツの企画・開発・実施・応用提供を進める。

方法

JQAを土台とし一層有効なものとするため、経営革新に効果がある他分野の新たな考えや動きを察知、あるいは独自に構成し、顧客ニーズにフィットした独自性のあるコンテンツを企画・開発・提供する。

目標

- 2013年度中に、2本の研修プログラムを開発・提供する。
- アセッサーのフォローアップ・プログラムの考え方、体系を模索し、開発が必要なプログラムを明確にする。

概略スケジュール

6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5

Define

開発1

試行
改良

開発2

試行
改良

- 学習、出版の土台となる独自コンテンツを開発・提供する。
 - 事例研究以外の独自セミナーの実現、ジャーナル以外の独自出版
- 部会は、運営委員からJQAに加え他分野に精通する有識者を3~4名集めて構成する。
 - 勉強する場ではなく、自らの経験、知識、スキルを活かし創造する場である
- まず、「人の心理面と関係性および場の構成」を重視した取り組みと経営品質との連動性について焦点を当て、開発を進める。
 - エンゲージメントを切り口に『心が通う組織』の構築を目指す
- 多様なネットワークを活かし新たな分野での動きを察知し、コンテンツの種を見出し、商品化につなげていく。

+ 報酬

- 個人の能力に資するところが大きい⇒開発商品の収益から一定の割合を開発報酬とする。

+ 知的所有権

- 開発者（=提供者）は、JQAAの活動を妨げない範囲において、独自に開催するセミナー等において類似のコンテンツを使用できるものとする。

■ 目的

1. 経営品質協議会(JQAC)との連携を保ち、企業活動の中で経営品質向上を目指して実践行動を起こしている認定セルフアセッサーに向けた研究・支援活動を行う。
2. 経営品質に関心を持たれた方を中心に入門編として企業活動の中で起きている日常の事例を参照しながら、セルフアセスメントの体験コースを提供する活動を行う。

■ 具体的内容

1. アドバンスド・アセスメント研究会（目標：1コース （計6回）開催）

経営品質向上活動をしている経験者でかつ有識者を中心にした参加者に加え、運営委員も参画し、活動しているセルフアセッサーの方が実務を通じて経営者に質の高い「フィードバックレポート」が提出できるような研究・支援活動を行う。

2. アセスメント体験コース（目標：2回開催）

経営品質活動に触れる入門編の研修を提供する。

これから経営品質の学習の機会を積み重ね、また広くJQA思考を広めていく一助となっていくことを目指す。

■開催要領

- 年3～4回開催（不定期）
 - 参加費 一般顧客：4,000円、理事・運営委員：2,000円
- ※今後のセミナー開催およびJQAA活動全体の原資確保に努める。

■セミナーの運営

- 講師および参加者（理事・運営委員を含む）によるDialogの実践
- 人的ネットワーク構築および講演内容の理解度・活用度向上
- 参加者がJQAAを常に意識できる環境づくり
- 参加者の満足度把握：顧客満足度調査。理事・運営委員の振り返りによる改善

■他部会との連携

- 理事・運営委員だけでなく、JQAC、地方協議会との連携によるテーマ・講演者探索
- 広報部会、JQACの発信媒体を活用した集客活動の推進
- セミナー内容を基にしたJQAAとしての新たな価値作り

■ 活動目的

● 経営改革、組織改革に取り組む実務者の「課題解決支援」

【過去討議課題事例】

- 経営品質活動を活性化するには？
- 全体最適を目指すには？
- 経営スピードを加速するには？
- CS調査を現場（営業）改善に活かすには？

■ 運営方針

～自社取組みを語り、他社取組みに学ぶ！～

- 実践研究会で課題を討議する！（課題解決への「気づきの場」）
 - ・ 自社取組み課題の発表。参加者との意見交換からの「気づき」
 - ・ 他社取組み課題の発表。他社取組み事例からの「気づき」
 - ・ 経営改革、組織改革経験者から改革成功ポイントを学ぶ！
- 「気づき」をその後の取組みに活かす！

■ 開催要領

- ・ 年8～10回開催
- ・ 会費：12,000円/年

■ 基本方針

1. JQAA通信、Web、アセッサージャーナル等の各種媒体を効果的に活用し、経営革新に関する活動を広く案内する。
2. 経営品質協議会と連携し、経営革新への取り組みの輪の拡大を図る。

■ 重点施策

- ① JQAA通信の更なるコンテンツの充実
- ② ジャーナル21号の発行(2月のJQA報告会に向けて発行を検討)
- ③ 運営委員拡大を図り、活動の更なる活性化促進
- ④ 経営革新に取り組む方々の要望・期待の収集
- ⑤ Webコンテンツの更なる拡充
- ⑥ 運営委員の名簿管理
- ⑦ 自立・自尊の活動を支える、透明性のある会計管理

2013年度活動予算

収入 (単位千円)	金額		支出	金額	収支
コンテンツ開発部会 研修プログラム 2コース	320		コンテンツ開発部会 講師謝礼、その他	310	10
アセッサー部会 JQAA・JQA研究会 アセスメント体験コース	270		アセッサー部会 講師謝礼その他	250	20
学習部会 講演・セミナー 4回開催	640		学習部会 講師謝礼その他	500	140
実践研究部会 年間 10回開催 受講者 6名程度	72		実践研究部会 部屋使用料、その他	42	30
広報部会 アセッサージャーナル発行	450		広報部会 ジャーナル執筆謝礼 部屋使用料、その他	450	0
			理事会・企画委員会費用 部屋使用料、他	238	▲238
			総会費用 部屋使用料、懇親会他	40	▲40
小計	1,752		小計	1,830	▲78
2012年度繰越金	598				598
合計	2,350		合計	1,830	520

第2号議案：役員体制

新組織の役員候補一覧（敬称略 50音順）

	氏名
理事候補	大川 幸弘
理事候補	小楠 高弘
理事候補	加藤 修明
理事候補	吉川 博章
理事候補	久保田 秀子
理事候補	清水 光一郎
理事候補	末吉 進
理事候補	杉浦 正宣

	氏名
理事候補	瀬川 和彦
理事候補	中西 章生
理事候補	平井 嘉人
理事候補	平本 洋
理事候補	道添 順一
理事候補	校條 亮治
監事候補	黒瀬 晋
監事候補	藤代 光洋